

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第5001061号
(P5001061)

(45) 発行日 平成24年8月15日 (2012.8.15)

(24) 登録日 平成24年5月25日 (2012.5.25)

(51) Int. Cl. F I
B 6 5 D 8 5 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1) B 6 5 D 8 5 / 1 0
B 6 5 D 5 / 6 6 (2 0 0 6 . 0 1) B 6 5 D 5 / 6 6 3 1 1 D

請求項の数 10 外国語出願 (全 9 頁)

(21) 出願番号	特願2007-122219 (P2007-122219)	(73) 特許権者	392003937
(22) 出願日	平成19年5月7日 (2007.5.7)		ジー. デー ソチエタ ペル アツィオニ
(65) 公開番号	特開2007-326645 (P2007-326645A)		G. D. SOCIETA PER AZI
(43) 公開日	平成19年12月20日 (2007.12.20)		ONI
審査請求日	平成22年1月6日 (2010.1.6)		イタリア国, ボローニャ 40133, ビ
(31) 優先権主張番号	B02006A000349		ア バッティンダルノ 91
(32) 優先日	平成18年5月9日 (2006.5.9)	(74) 代理人	100099759
(33) 優先権主張国	イタリア (IT)		弁理士 青木 篤
		(74) 代理人	100092624
			弁理士 鶴田 準一
		(74) 代理人	100102819
			弁理士 島田 哲郎
		(74) 代理人	100110489
			弁理士 篠崎 正海

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 煙草箱を収納する硬質の包装容器

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

煙草箱を収納する硬質の包装容器であって、
前記煙草箱（2）が、角柱形状から成り、ほぼ三角形断面を示し、
前記煙草箱（2）が、互いに平行で互いに接して配列され、
所定の長手方向の主軸線（L）を有する包装容器において、
前記煙草箱（2）が角柱形状であり台形の長手方向断面を示す、煙草箱の少なくとも一
つのグループ（15）を形成するように、
前記煙草箱（2）は、それぞれの長手方向軸線（5）が、前記包装容器の長手方向の主
軸線（L）と直角に延伸して前記包装容器の内側に配置され、
包装容器（1）が、矩形の底面（10）と、前記底面（10）のそれぞれの短辺（12
）と結合する二つの互いに向き合う側面（11）と、互いに平行で前記底面（10）のそ
れぞれの長辺（9）と結合する前面（7）と後面（8）と、前記底面（10）に平行で矩
形外形のアクセス開口部（13）と、を包含して、包装容器（1）が角柱の外観から成り
、台形の長手方向断面を示し、
前記煙草箱の少なくとも一つのグループ（15）は、それぞれの側面（4）が、前記底
面（10）に向けられ、その上に置いて配置される煙草箱（2）の第一列（15a）と、
それぞれの側面（4）が、前記アクセス開口部（13）に向けられ、それに面して配置さ
れる煙草箱（2）の第二列（15b）とを包含し、前記第一列（15a）の二つの対応す
る煙草箱（2）の間に、前記第二列（15b）の各煙草箱（2）を挟み込む、

10

20

ことを特徴とする、包装容器。

【請求項 2】

前記前面と後面（ 7、 8 ）は、前記底面（ 10 ）によって占められる平面に垂直な平面を占め、前記底面（ 10 ）の長辺（ 9 ）に隣接する長い底辺（ 7 a、 8 a ）、前記アクセス開口部（ 13 ）の長辺に隣接する短い底辺（ 7 b、 8 b ）、及びそれぞれの側面（ 11 ）に各々が隣接する二つの角をなす辺（ 7 c、 8 c ）から構成される二等辺台形の外形を含む、請求項 1 に記載の包装容器。

【請求項 3】

前記側面（ 11 ）の各々が、前記底面（ 10 ）によって占められる平面に対し相対的に傾く平面を占め、前記アクセス開口部（ 13 ）の短辺に隣接する上端部（ 11 a ）、前記底部（ 10 ）の短辺（ 12 ）に隣接する底端部（ 11 b ）、及び前面と後面（ 7、 8 ）のそれぞれの角をなす辺（ 7 c、 8 c ）に各々が隣接する二つの側端部（ 11 c ）を含む、請求項 2 に記載の包装容器。

10

【請求項 4】

外形が前記開口部（ 13 ）の外形と一致し、蝶番線（ A ）に沿って少なくとも前記前面（ 7 ）又は前記後面（ 8 ）に接合し、従って前記底面（ 10 ）に平行に配置され、前記開口部（ 13 ）を閉鎖する閉じた位置と、前記開口部（ 13 ）から間隔を置く開いた位置との間を移動できる上面（ 14 ）をさらに包含する、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の包装容器。

【請求項 5】

透明で熱収縮する材料から形成される保護用の上包み材をさらに包含する、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の包装容器。

20

【請求項 6】

長手方向の主軸線（ L ）を横断して横方向に配置される対称軸線（ 17 ）を備える包装材料の平らな打ち抜き半製品（ 16 ）から形成され、二つの横方向の折り目線（ 18、 19 ）と、さらに長手方向の軸線（ L ）に平行に延伸し、前記横方向の折り目線（ 18、 19 ）の間を結び、前記包装容器（ 1 ）の面（ 7、 8、 10、 14 ）となる複数の長手方向に延在するパネル（ 7'、 8'、 10'、 14' ）の範囲を画定する複数の予め折り曲げられた折り曲げ部（ 20、 21、 22、 23 ）と、少なくとも一つの長手方向に延在する接続折り返し片（ 14 a ）とを有し、少なくとも一つの前記長手方向に延在するパネル（ 7'、 8'、 10'、 14' ）が、二つのほぼ矩形の向き合う端部の折り曲げ部（ 11' ）を有し、少なくとも二つの前記長手方向に延在するパネル（ 7'、 8'、 10'、 14' ）が、それらの二つの向き合う端部で、前記包装容器（ 1 ）の側面（ 11 ）を形成する前記それぞれの端部の折り曲げ部（ 11' ）と合体して結合されるようになっているそれぞれの舌状部（ 24 ）を有する、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の包装容器。

30

【請求項 7】

前記端部の折り曲げ部（ 11' ）を有する前記パネル（ 10' ）が、前記底面（ 10 ）となり、前記それぞれの舌状部（ 24 ）を有する前記二つのパネル（ 7'、 8' ）が、前記前面（ 7 ）と前記後面（ 8 ）とにそれぞれなるように、前記底面（ 10 ）となる前記パネル（ 10' ）のいずれかの辺に配置される、請求項 6 に記載の包装容器。

40

【請求項 8】

前記それぞれの舌状部（ 24 ）を有する前記二つのパネル（ 7'、 8' ）が、二等辺台形の外形から成る、請求項 6 又は 7 に記載の包装容器。

【請求項 9】

前記半製品（ 16 ）が、前記後面（ 8 ）となる前記パネル（ 8' ）に隣接して配置され、前記上面（ 14 ）となる少なくとも一つの長手方向に延在するパネル（ 14' ）を包含する、請求項 8 に記載の包装容器。

【請求項 10】

前記長手方向に延在する接続折り返し片（ 14 a ）が、二等辺台形の外形から成り、前記後面（ 8 ）となる前記パネル（ 8' ）から遠い辺で、前記上面（ 14 ）となる前記長手

50

方向に延在するパネル（１４'）と接合され、前記前面（７）となる前記長手方向に延在するパネル（７'）と係合できる、請求項９に記載の包装容器。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、煙草箱の収納に役立つ硬質の包装容器に関する。

【背景技術】

【０００２】

用語の包装容器は、原則としてほぼ直方体の形状からなる煙草箱に適合するようになっている、「カートン」として周知の硬質の容器を表すために、ここでは概ね使用される。

10

【０００３】

第一タイプの包装容器は、尖った角端部を有し、長手方向の主軸線を有する扁平な平行六面体としてほぼ見え、隣り合わせに配列され、長手方向軸線に沿って延伸する一列又はそれ以上の列を形成するように、互いに接触して配置される複数の煙草箱を収納する。

【０００４】

第二タイプの包装容器は、尖った角端部を有し、この場合は垂直軸を有するほぼ平行六面体の外観を示し、カップ型形態の蓋の様なものを備え、蝶番を介して容器に接続され、従って容器の開口する上端部をそれぞれに曝す及び隠す、開いた位置と閉じた位置との間で回転することが可能なカップ型容器と、さらに、開口する上端部から突出していて、閉じた位置にある場合に蓋を保持する強化フレームとを包含する。このタイプの包装容器によって、煙草箱は、互いに接して配置され、同一包装容器の垂直軸線を横断して配置されるそれぞれの軸線に沿って整列される二つの列に配列される。

20

【０００５】

【特許文献１】欧州特許第１２４００８８号明細書

【特許文献２】欧州特許出願公開第７６４５９５号明細書

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００６】

上で概略を述べた二つのタイプの硬質の包装容器は、直方体以外の形状を示す煙草箱のためのカートンとして不適切である。

30

【課題を解決するための手段】

【０００７】

本発明の目的は、出来る限り単純で経済的に具現化される平らな打ち抜きの半製品から得ることが可能で、直方体とは著しく形状を異にする煙草箱に適合でき、さらに、その製造のための包装材料が比較的適切な量を必要とする、硬質の包装容器を提供することである。

【０００８】

述べられた目的は、幾何学的に長手方向の主軸線を有する、多数の煙草箱を収納するために役立つ硬質の包装容器の本発明に従って十分に理解され、長手方向に台形断面の角柱形状を示すことを特徴とする。

40

【発明を実施するための最良の形態】

【０００９】

本発明は、添付の図面を活用して例示によって、ここに詳細に述べられるだろう。

【００１０】

図１を参照して、符号１は全体として包装容器を表し、包装容器は、詳細には、特許文献１に開示され、全記述を備えることの利益において参照によってここに組込まれるような複数の煙草箱２を保持するようになっていて、一つの煙草箱２は、ほぼ三角形断面の角柱として見える外包装容器３から成り、それ故に、角柱の長手方向の主軸線５と平行に全て配置されるほぼ矩形の外形の三つの隣接する側面４と、二つのほぼ三角形の端部面６とを有する。

50

【0011】

包装容器1は、煙草箱2の軸線5を横断して配置され「L」で表示される長手方向の主軸線を有し、ほぼ台形の長手方向断面の角柱として見える。

【0012】

特に、包装容器1は、二等辺台形の外形として認識される長手方向の断面を示し、台形の外形は正面7と後面8によって表示されることが分かるだろう。

【0013】

さらに正確には、上述の包装容器1の正面7と後面8とは、長手方向の主軸線「L」に平行に延在し、ほぼ矩形の底面10の二つのそれぞれの長辺9、及びこれらの同じ三つの面7と8と10に対して横方向に配置される二つの側面11に隣接し、二つの側面11は、順次同様に底面10の相対的に短辺12と隣接する。従って、底面の長辺9と短辺12は、包装容器1の底部の角端部と一致する。

10

【0014】

包装容器1はまた、底面10と平行な平面を占め、包装容器1に収納される煙草箱2を取出すことが出来る通路を提供する、13で表示される矩形外形のアクセス開口部を含む。

【0015】

図面で見分けられるように、二等辺台形の外形の正面7と後面8とは、底面10によって占められる平面に垂直な平面を占める。二つの台形面7と8の各々は、底面10の長辺9に隣接する長い底辺7aと8a、開口部13の長辺に隣接する短い底辺7bと8b、及び相対的な側面11に各々が隣接する二つの角をなす辺7cと8cを含む。

20

【0016】

二つの側面11は、矩形の外形をなし、底面10によって占められる面に対して相対的に傾く。さらに、各側面11は、アクセス開口部13のそれぞれの短辺に隣接する上端部11a、底面10の短辺12に隣接する底端部11b、及びそれぞれの正面7又は後面8の1つの角をなす辺7c又は8cに各々が隣接する二つの側端部11cを含む。

【0017】

実際には、側面11が、開口部13に向かって上方向に収斂するならば、各底端部11bは、鋭角な角端部に一致し、一方各上端部11aは、鈍角な角端部に一致する。

【0018】

図1の例示において、硬質の包装容器1は、外形が開口部13の外形に一致する上面14を含む。要するに、上面14は、開口部13と同一寸法の矩形外形を示し、底面10の寸法より小さい。

30

【0019】

包装容器1の上面14は、前述の短い底辺8bと一致する蝶番線「A」に沿って後面8に接合され、従って、底面10に平行に配置され開口部13を閉鎖する(添付図面に示されていない)閉じられた位置と、開口部13から間隔を置く(図1のような)開いた位置との間を移動することが出来る。

【0020】

図3の例示において、硬質の包装容器1には、図1のような上面14が備えられない。この場合に、開口部13は覆いの無いままであり、包装容器1に収納された煙草箱2は見える。

40

【0021】

述べられた例示(図1と3)のいずれにおいても、硬質の包装容器1は、ポリプロピレンのような透明で熱収縮する材料から形成される、外側の保護カバー又は上包み材を備えることもまた出来る。図3の例示において、結果的に、包装容器1が開口した上部を有する場合に、同じ包装容器に収納された煙草箱2は、上包み材によって所定の位置に保持される。

【0022】

さらに図1と3を参照して、想像線で示された煙草箱2は、15で表示される少なくとも

50

も一つのグループを形成するために、相互に平行で接して、それぞれの包装容器 1 内に配列される。組立てられたグループ 15 は、角柱の形状から成り、包装容器 1 の台形の長手方向断面に一致する断面を示す。

【 0 0 2 3 】

煙草箱のグループ 15 は、それぞれの側面 4 が、底面 10 の内面に向けられ、その上に置かれ、それぞれの三角形の端部面 6 が、前面 7 と後面 8 の内面に向けられて配置される煙草箱 2 の第一列 15 a を包含する。この場合に、第一列 15 a の煙草箱 2 は、開口部 13 の方向に向けられたそれぞれの角端部によって並んで配置される。

【 0 0 2 4 】

グループ 15 はさらに、それぞれの側面 4 が、アクセス開口部 13 に向けられ、それに面し、それぞれの三角形の端部面 6 が、前面 7 と後面 8 の内面に向けられて配置される煙草箱 2 の第二列 15 b を包含する。この第二列 15 b の煙草箱 2 は、底面 10 の方向に向けられたそれぞれの角端部によって配置される。

10

【 0 0 2 5 】

第二列 15 b の各煙草箱 2 は、第一列 15 a の二つの対応する煙草箱 2 の間に挟まれて置かれることが分かるだろう。その結果、第二列 15 b を構成する煙草箱 2 の数は、第一列 15 a を構成する煙草箱 2 の数より少ない。

【 0 0 2 6 】

例えば図 1 と 3 に示されるように、グループ 15 は、九つの煙草箱 2 を含み、その内五つは、第一列 15 a を、及び四つは第二列 15 b を構成する。

20

【 0 0 2 7 】

包装容器 1 は、第一列 15 a の煙草箱の間に挟まれて置かれる第二列 15 b の煙草箱によって配列される、任意に与えられた数の煙草箱 2 を収納するように寸法を加減してもよい。

【 0 0 2 8 】

図 4 の例示において、煙草箱 2 は、一つが別の上部に配置される二つのグループ 15 を形成するように包装容器 1 の内部に配列され、台形外形の長手方向断面を示す角柱形状の単一グループを構成する。この場合は、上部グループ 15 の第一列 15 a は、底部グループ 15 の第二列 15 b と同数の煙草箱 2 になる。

【 0 0 2 9 】

30

図 2 を参照して、包装容器 1 は、包装材料の平らな打抜きの半製品 16 から形成され、その構成部品は、包装容器 1 の対応する部品を表示するために使用される番号と、きっちり同一の番号を使用することが可能な場所に表示されるだろう。

【 0 0 3 0 】

半製品 16 は、ほぼ矩形で、対称軸線 17 が長手方向の主軸線「L」を横断して横方向に配置され、二つの横方向の折り目線 18 と 19 と、さらに前述の長手方向の軸線「L」と平行して延伸する複数の長手方向に延在する予め折り曲げられた折り曲げ部 20、21、22 及び 23 を含む。当の折り曲げ部 20、21、22 及び 23 は、横方向の折り目線 18 と 19 との間に延在し、完成された包装容器 1 の対応する面 7、8、10 及び 14 とそれぞれに一致する、複数の長手方向に延在するパネル 7'、8'、10' 及び 14' の

40

、同様に、少なくとも一つの長手方向に接続折り返し片 14 a の境界を設定する。

【 0 0 3 1 】

前述の長手方向に延在するパネルの少なくとも一つは、向き合う端部でほぼ矩形外形の二つの端部の折り曲げ部 11' と結合する。実際には、二つの端部の折り曲げ部 11' は、前述の横方向の折り目線 18 と 19 に沿って、図 2 で示すように、包装容器の底面 10 に対応する平らな半製品の中央パネル 10' に接合される。

【 0 0 3 2 】

利点として、中央パネル 10' の両方の辺に配置された少なくとも二つのさらなるパネル 7' と 8' が、両端部のそれぞれに舌状部 24 を備え、舌状部 24 は、包装容器 1 の側面 11 を確立するために結合されるそれぞれの端部の折り曲げ部 11' と、最終的に接続

50

される。

【0033】

舌状部24を有し、包装容器1の前面7と後面8とそれぞれに一致するパネル7'と8'は、底面10の長辺9と各々一致する、それぞれの長手方向に延在する予め折り目を付けられた折り曲げ部20と21に沿って中央パネル10'と結合する。

【0034】

結果的に、一度、半製品が、折り曲げ部20と21に沿って曲げられ、表示された7'と8'のパネルの境界が設定され、端部の折り曲げ部11'が、横方向の折り目線18と19に沿って曲げられると、舌状部24は、端部の折り曲げ部11'の内面に提供できる。舌状部24は、横方向の折り目線18と19のそれぞれの末端部18aと19aに沿って都合よく曲げられ、それを介して、同一の舌状部24は、関連するパネル7'と8'に接合する。

10

【0035】

図1と4で分かるように、舌状部24は、二つの側面11を形成するために、関連する端部の折り曲げ部11'の内面と結合される。

【0036】

端部の折り曲げ部11'を曲げる段階は、横方向の折り目線18と19の末端部18aと19aとが一例整列になるように各々の折り曲げ部を回転することを含み、折り曲げ部は前面7と後面8の角をなす辺7cと8cに一致する。従って、端部の折り曲げ部11'は、既に述べられた方法で傾けられ、側面11の組立は完成する。

20

【0037】

さらに、図1の例示によって示される包装容器を作り出す、図2に図解される半製品16の形成する部分は、包装容器1の後面8となるパネル8'から延伸するパネル14'である。

【0038】

当のパネル14'は、包装容器(図1)の上面14と一致し、蝶番線「A」を備える長手方向に延在する予め折り目を付けられた折り曲げ部22を介して隣接するパネル8'と接合し、同一の上面14は、蝶番線の周りに前述した開いた位置と閉じた位置との間を回転する。

【0039】

接続折り返し片14aは、後面8を画定するパネル8'と結合する辺と反対側の辺で、上面14を画定するパネル14'と結合する。

30

【0040】

接続折り返し片14aは、二等辺台形の外形を示し、上面14の一つの長辺と一致する予め折り目を付けた長手方向に延在する折り曲げ部23に沿ってパネル14'と接合する。

【0041】

図1でより有利に示されるように、折り返し片14aは、上面14が閉じた位置にある時に、前面7の内面に提供される。

【0042】

包装容器1は、予め折り目が付けられた長手方向に延在する折り曲げ部20、21、22及び23によって提供される長手方向の角端部を有し、角端部は丸くされる又は面取りされるかもしれない。同様に(特許文献2で開示され、全記述を備えることの利益において参照することによってここに組込まれる、煙草箱の場合のように)、横方向の折り目線18と19によって作られる幅広い横方向の角端部は、非直線端部であり、再度丸くされる又は面取りされるだろう。代替として、若干数の長手方向の角端部と若干数の横方向の角端部とが、非線形であり、それ故に、同一の容器内で長手方向と横方向の両方の、非線形で丸くされた又は面取りされた角端部を併用する。

40

【0043】

上述の包装容器1は、重要な利点を提供する。

50

【 0 0 4 4 】

第一に包装容器 1 は、馴染みの直方体形と明確に異なる形状の煙草箱 2 に適合することが可能である。実際に、この場合に述べられ図解された煙草箱 2 は、三角形断面の輪郭を示す。

【 0 0 4 5 】

加えて、包装容器 1 は、平らな半製品 1 6 から形成され、それは一枚で作り出すことが出来き、その結果利点として、相対的に限定された量の材料を使用する。それ故に、包装容器 1 は、構造的に簡潔で、製造するのに経済的である。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 4 6 】

【図 1】本発明に従う硬質の包装容器の第一実施形態を、斜視図で図解する。

【図 2】図 1 の包装容器を形成するための打ち抜きの半製品の平面図である。

【図 3】本発明に従う硬質の包装容器の第二実施形態を、斜視図で図解する。

【図 4】図 1 の包装容器のさらに代替の実施形態を、斜視図で示す。

【符号の説明】

【 0 0 4 7 】

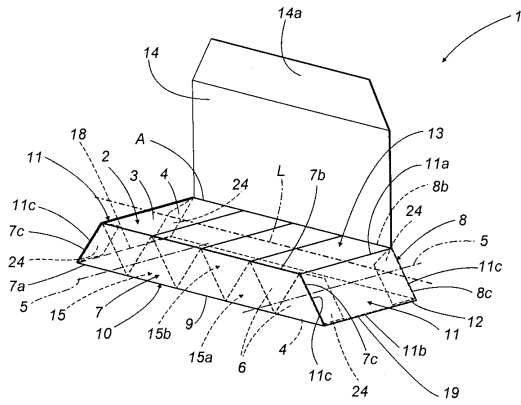
- 1 包装容器
- 2 煙草箱
- 7、8、10、11、14 包装容器の面
- 7'、8'、10'、14' 長手方向に延在するパネル
- 11' 端部の折り曲げ部
- 13 アクセス開口部
- 14 a 折り返し片
- 15 グループ
- 16 半製品
- 24 舌状部
- L 長手方向の主軸線

10

20

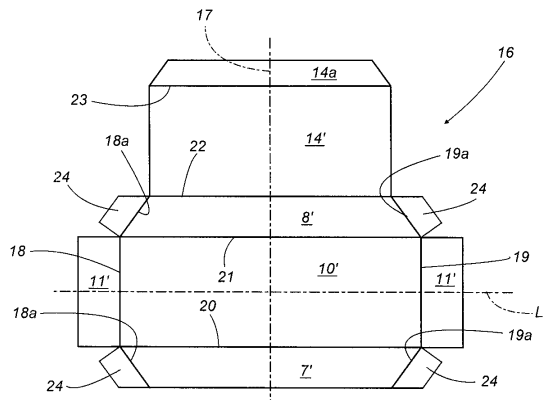
【 図 1 】

図1



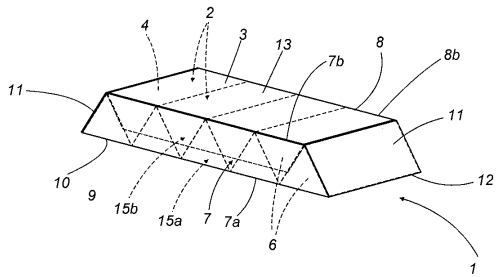
【 図 2 】

図2



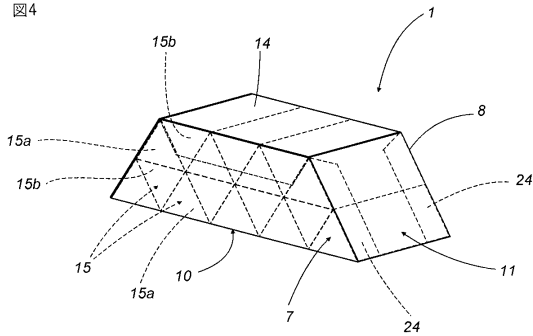
【 図 3 】

図3



【 図 4 】

図4



フロントページの続き

- (72)発明者 イバノエ ベルトウツィ
イタリア国, イ - 4 0 0 3 3 カサレッキオ ディ レノ (ボローニャ), ピア エッセ . ペルテ
イーニ 2
- (72)発明者 アンドレア ビオンディ
イタリア国, イ - 4 0 1 3 3 ボローニャ, ピア ピアベ 6

審査官 楠永 吉孝

- (56)参考文献 米国特許第 2 8 0 3 3 9 1 (U S , A)
特表 2 0 0 3 - 5 1 6 9 1 3 (J P , A)
特開 2 0 0 5 - 1 8 6 9 8 2 (J P , A)
米国特許第 3 3 6 1 3 2 9 (U S , A)
特開 2 0 0 1 - 2 9 4 2 2 4 (J P , A)
特表 2 0 0 3 - 5 3 5 7 8 5 (J P , A)

(58)調査した分野(Int.Cl. , DB名)

B 6 5 D 8 5 / 1 0
B 6 5 D 5 / 0 0 ~ 5 / 7 6
B 6 5 D 7 5 / 0 0 ~ 7 7 / 4 0